

思い出ずっと消さない

浜松市の浜名湖で二〇一〇年六月に野外活動中のボートが転覆した事故で、亡くなった愛知県豊橋市の中学一年、西野花菜さん(当時一二)を追悼する「菜の花キャンドル」が二十三日夕、豊橋市内の西南代公園(西南代公園)であった。

浜名湖ボート事故

「春を待つ花だから」と菜の花から名付けられた花菜さん。毎年六月に追悼行事はあるが、半年に一度は、しのぶことができるようにと、花菜さんの両親が昨年から開いている。

花菜さんの同級生ら三十人が集まり、千四百個の発光ダイオード(LED)と手作りのキャンドル百二十個を飾り付けた。日が落ちると、花菜さんのかわいがっていたブンチョウや星、ハートの形に浮かび上がり、揺らめいた。

小学校から仲良しだったという高校二年、平松明華さん(も)は「事故を忘れちゃいけない。花菜の分まで楽しい思い出をつくらないといけない」と話した。

父親の友章さん(五五)は「事故から四年半、花菜に会えなくなつて四年半。それでも忘れずに寒い中、集まってくれてありがとう。花菜のこと、将来や友達のことを考える機会になれ

同級生ら 西野さんのふ

西野花菜さんがかわいがっていたブンチョウをかたどったキャンドルを見つめる同級生ら=23日夕、愛知県豊橋市の西南代公園で



ば」とあいさつした。母親の光美さんは「今日も一緒に笑つてると思う。友達が好きだったから」と話した。

事故では、当時の校長らが業務上過失致死容疑で書類送検されたが、検察はまだ起訴、不起訴の判断をしていない。友章さんは「法廷で責任を明確にしてほし

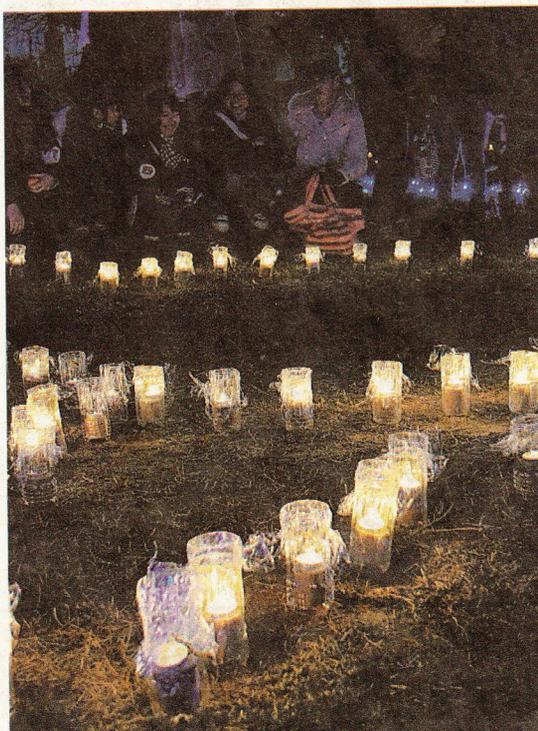


浜名湖ボート転覆事故 浜松市北区の浜名湖で2010年6月、野外活動中だった豊橋市章南中の1年生18人と教諭2人が乗った手こぎボートが悪天候で操縦不能になり、モーターボートでえい航中に転覆。全員が投げ出され、ひっくり返った船体内側に閉じ込められた西野花菜さんが溺死した。静岡県警は13年2月に業務上過失致死などの疑いで、章南中の当時の校長ら6人を書類送検。静岡地検が捜査を続けている。

い」と語った。

2014.12.24 中日新聞

ボート事故繰り返さないで 豊橋、西野さん悼みキャンドル



2010年6月、浜松市の浜名湖で野外活動中にボートが転覆して亡くなった豊橋市立章南中学一年の西野花菜さん(当時12)を追悼する集いが23日、同市杉山町の公園で開かれた。高校2年になった同級生ら約30人が集まり、キャンドルに火をともして花菜さんをしのんだ。

「菜の花キャンドル」と名付け、花菜さんの両親が、2度と悲しい学校事故を繰り返してほしくないとの願いを込めて毎年開いている。

自宅近くの公園には、ペットボトルにろうそくを立てたキャンドル約120本とLEDライトなど約1400個が並べられ、花菜さんがかわいがっていた文鳥の「プーレ」などが描かれ

た。

父親の友章さんは、事故から4年半、花菜を集まってくれてありがとう。キャンドルを日頃の思いを楽しめてほしい」とあいさつした。

小学校の頃から仲良かった平松明華さん「みんなで楽しい甲つくり、花菜の分までしていきたい」と話